KIITO:

KIITO NEWSLETTER 020

KIITOでものをつくる。

連載企画

街の2コマ / 1$夜景 / 世界のデザイン都市ガイド［中国・深セン］

「ものづくりワークショップ」を再検証！

KIITOでものをつくる。

KIITOでものづくりの機会があることはあまり知られていないかもしれません。
2015年から継続して開催する「ものづくりワークショップ」は、
つくるだけでなく、普段何気なく使っているものの価値を再確認する試みです。
今回は、このワークショップ企画の発起人、参加者の声を拾いながら、
さらにたくさんの質問も投げかけて、
ものをつくることに熱中する人たちの奥深くまでのぞいてみました。

参加者から見た、KIITOのものづくりワークショップ

三宅 陽子さんの声

岡山出身、神戸在住歴6年。「ニットキャップをつくる。」「シャツをつくる。」に参加した他、KIITOでの数々のイベントに参加して、今ではKIITO CAFEのスタッフに。

—「ものづくりWS」でどの時間が印象に残っていますか？

「シャツをつくる。」で、原田先生が流しの洋裁人となるきっかけになったガーナでの体験話に欣喜雀躍しました。そして、裁断から8時間でシャツを仕上げる初心者には挑戦的な企画、先生のちゃきちゃきの岡山弁、最後の方は全員が半トランス状態で踏んでいたであろうミシンの音しか覚えていません（笑）。

—WSでつくったものは今どうなってます？

すべてヘビロテです。特に、シャツは余った時間で襟のデザインを作りかえたので愛着の1着になりました。使用した生地の素材が面白く、その後の布選びの参考にもなっています。

—他のWSと違うところってあったでしょうか？

企画者のカラーが垣間見えるところ。そして、ただものをつくることだけが目的ではないところ。なんのために、どうしたら…のぽやっとした部分を形にしていく思考過程が重要なWSだという感じがします。

奥津 翼さんの声

神奈川出身、神戸在住歴8年。「バブーシュをつくる。」「シャツをつくる。」に参加。神戸のさまざまなワークショップや企画でよく顔を見かける。職業は、スポーツメーカーでフットウェア開発。

—「ものづくりWS」での発見はありましたか？

ものづくりの過程には人の手と「目」が入っていることに改めて気づかされました。職人の手には注目が集まりやすいですが、それを判断する「目」が作業中にかぎらず、あらゆる段階でクオリティを決定づけているのだな、と。

—WSでつくったものは今どうなってます？

苦労してつくったという愛着があって、まだ使えていません。それぞれ下駄箱とクローゼットの一軍のところに並び続けているのですが…。

—他のWSと違うところってあったでしょうか？

できあいのものを組み立てていくワークショップは数多く存在しますが、最初の段階からスタートしてここまで大変な思いをして、しかも時間内に終わらないこともあるWSは、まずないのではないでしょうか。結果として、それを生業にされている方への尊敬が生まれるWSだと思います。

「ものづくりワークショップ」の歩みをご紹介

ものづくりへの愛とこだわりにあふれるキイトでのワークショップは、これまでに5回開催されてきました。実際につくったものの写真と2人の講師からいただいたコメントと合わせて振りかえります。

2015.04.12.sun
うたたね 山極さんと、
スツール をつくる。

座るのはもちろん花台としても使える、軽くてシンプルなスツールを制作。昔ながらの伝統的な技法で、すべて手作業で組み立てていきました。所要4時間、参加費5000円。

2015.03.15.sun
KNOCKS:BESPOKE 内尾さんと、
バブーシュ をつくる。

日本ではルームシューズとして親しまれている、モロッコの伝統的な履物バブーシュの裁断から縫い上げまでを体験。所要7時間、参加費6000円。

創るを育む「創育」という印象のWSでした。デザインから考えていただいたので、のべ7時間となりましたが、絶対完成させるぞというみなさんの熱意が強く、脱落者なく完成させることができました。ものづくりの純粋な気持ち、初心を思い出させてくれる時間となりました。

「ものづくりワークショップ」、その企画意図は実は…。

無造作に投げ出されたタイトルからはなかなか想像できないが、KIITOのものづくりワークショップにはいくつもの狙いが秘められている。そもそも企画者であるKIITOスタッフ・丸山僚介は、「このワークショップは技術の習得が目的じゃない」と言い切る。え？ そうなの。

大学での専攻はプロダクトデザイン。家具づくりを主に専攻し、卒業後は神戸の鉄工所で溶接を手がける。その後、グラフィックデザイン事務所、無印良品の販売員も経験してきたオトコの根底には、物の価値って何なのか、無自覚な消費そのものを見直したいという、なかなかラディカルな思いが根強くある。

「震災以降は、新しいものをつくるということにさえ立ち止まってしまう感覚があって。古いものを使っていこうぜって。それでも、ものをつくったり買ったりする必要があるのなら、ものがつくられる背景までちゃんと見えてないと気持ち悪いんです」

そんなマルヤマの企画する「ものづくりワークショップ」、当然、事前に準備されたパーツをただ組んでいくだけでは決してない。靴であれば革をなめすところから、フラワーベースも竹を切るところから話をはじめて、材料、道具、技術から物を取りまく状況などについても講師から随時、教えを受けながら進行。ときにはワークショップのための商品開発まで行ったり、ゼロからのものづくりにこだわりすぎて完成まで12時間に及んだことも。

「シャツのワークショップが12時間かかったのは、僕のタイムキープがまずかったんですけど、参加者がそれだけ没入してひとつのものをつくるって、やっぱり面白かったんだと思うんです。帰り際に『もうシャツを2千円では買えませんよ』って言ってくれたのはうれしかった」

物の価値、消費を再考しようという堅い講義でもなく、ただのものづくり体験でもなく。もちろん、こうした技と哲学を両立して伝えることを厭わない講師との出会い、参加してくれる人があっての企画だ。藍染め、フェルト、シルクスクリーン、溶接などなど、いずれは…とマルヤマが狙っているものづくりは他にも数多くある。「チラシを見て、『それ自分の手でつくれるんだ』って興味を抱いてもらうだけでも、僕がやりたいことの半分くらいは目標を達成できてるのかな。草の根的でもキッカケをつくっていけたらと思います」。

KIITO 丸山 僚介

岡山出身、KIITO勤続4年。ものづくりはもちろんコーヒーにも情熱をそそぎ、「神戸珈琲学」の企画も担当。ニットキャップ込みの似顔絵は本人リクエスト。

ものづくりワークショップ 今後の予定

2018.03.21.wed/holiday
めがね舎ストライク比嘉さんと、
めがね をつくる。

アセテートを板の状態から切り出して磨きを体験し、最後に組み上がるまでの工程をめがね舎ストライクの工房で見学。「本当に自分に合っためがね」を追求。所要7時間予定、参加費20,000円。

2018.03.31.sat
NaLgreen佐々木さんと、
テーブル をつくる。

「インドアとアウトドアの境界線をなくしたイメージを持った家具づくり」というNaLgreenのコンセプトに沿う、パラコード（ひも）を手作業で組み上げるミニテーブルづくり。
所要5時間予定、参加費5,000円。

2017.03.29.wed
有馬籠 轡豊さんと、
フラワーベース をつくる。

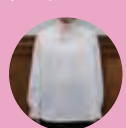
有馬の伝統工芸「有馬籠」の技で作られたフラワーベースを、有馬籠の文化や歴史、これまで編まれてきた多様な編み模様について学びながら制作。所要4時間、参加費2500円。

2016.03.13.sun + 03.26.sat
「ニットなアイツ。」ガーナさんと、
ニットキャップ をつくる。

糸や形を参加者が選び、オリジナルのニットキャップを制作。制作を通して、なかなか知る機会のない、編み図や模様の歴史なども学びました。所要10時間、参加費3000円。

あえて「ものづくりの難しさ」を感じてもらうことも意図した2日間で、より密度の高い編み物の魅力を伝えられました。楽しむだけのWSはあふれていますが、成長できるWSはそうありません。私たちにとっても理想的な時間で、できることなら何度でも開催したい！

2016.03.05.sat
流しの洋裁人 原田さんと、
シャツ をつくる。



デイリーユースのシャツを裁断から始めて1日で縫い上げました。細かなディティールにもこだわったシャツ制作は、シリーズの中でも難易度の高いプログラムとなりました。所要8時間、参加費7000円。

ものづくり度を徹底リサーチ！

三宅さん、奥津さん、丸山さんへ40の質問

※回答はすべて三宅さん／奥津さん／マルヤマの順です

Q 自分でイチからつくったもの

A 引っ越すたびにつくるのはキッチンカウンター／湯のみ／自宅屋上の小屋

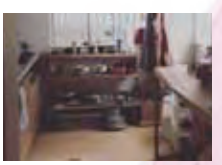
キッチンカウンター（三宅さん）

Q 人生最初のものづくり

A 小さい頃、ベルトを細かく切ってネックレスに／ペットボトルロケット／２枚の厚紙方眼紙でつくったオリジナルすごろく。サイコロづくりもブームだった

Q 自作したものでお気に入り

A 食器棚／湯のみ／屋上の小屋


食器棚（三宅さん）

Q 好きな素材

A 最近はウレタンチップ／紙と革と布と新しい素材／最近はOSB合板、ウッドパレット、空き瓶。ずっと好きなのはタモ、ナラ、馬革、黒皮鉄、真鍮…

湯のみ（奥津さん）

Q 好きな工具

A 卓マル／銀ペンと30度カッターとペーパーセメントとパソコン／ビン切りカッター「KINKAJOU」の登場は革命的でした

屋上の小屋（マルヤマ）

Q 買うものとつくるものの境界線

A 古いものや、おもしろい素材のものとか／理想とするデザインや素材感のものがなかったら／デザインがほしい場合は買う。機能がほしいならつくる思考から入る

Q 10年以上使ってるもの

A 小学生の頃に海外のお土産でもらったゴッホのTシャツ。もうすぐ顔がなくなりそう／定規、コピック「マルチライナー」、NT「カッタープロシリーズAD−2P」、「セメダイン写真用」／備前焼作家ニック・ジェニングスの一輪挿し

ゴッホのTシャツ（三宅さん）

セメダイン写真用、カッタープロシリーズ、マルチライナー（奥津さん）

一輪挿し（マルヤマ）

Q つくり方が気になるもの

A たくさん! 最近では、ある日本家屋の手づくり階段の脚の取り付け仕様／紙、革、布などや新素材。素材に興味があります／同サイズのもの。同じパーツを２つつくらなければいけない、とかがすごく苦手

Q きっちり派か目分量派か

A 大事なとこだけ寸法派／きっちり測ってつくってから目分量で調整／きっちり派、でも目分量に憧れあり

Q 好きな工程

A 組み立てるときワクワクする／考える、描く、切る、貼る／トリマーで木の角を丸める

Q 作業中の気分転換

A きれいな空気を吸う／珈琲を飲んだりお散歩したり映画を観たり／基本なし

Q 作業中のBGM

A あまり聞かない／Nujabes、toe、haruka nakamura、Sigur Ros、Gaelle、『タマフル』など／Nujabes、mabanua、Ovall、toe、U-zhaan、toconoma、STUTS

Q 作業で使っている場所

A 自宅の庭／なし／自宅１階の車庫

自宅の庭（三宅さん）

自宅１階の車庫（マルヤマ）

Q 失敗エピソード

A 素材の特性を理解せずに色をつけて、変な色に／完成図が描けないまま制作に突入してしまうとだいたい失敗する／溶接光を直視して眼球炎症

Q ライフスタイルを参考にしている人

A 周りに素敵な人が多いのでポジティブをいただいてます!／テキスタイルブランドmakumoのおふたり／ど田舎でお店を開けてしまうタイプの人

Q 注目している潮流、作家

A トゥバ演奏家、喉唄（フーメイ）／場づくりも含めたものづくりの流れ、伏見の写真館「これから」／「買わずに・持たずにできること」の多様化、「新しい骨董」

Q お気に入りの文房具

A はさみ／ゼブラ「サラサ」、プラス「フィットカットカーブ」、コピック「マルチライナー」、NT「カッタープロシリーズAD−2P」、「セメダイン写真用」など／ドイツの鉛筆削り

Q 家にある本

A 本はあまり買いませんが、最近は民族の資料、食の本を見ることが多いです／本はたくさんあります。デザイン、アート、サブカル、ZINEが多め／本は６畳間の壁一面くらい。雑誌が圧倒的に多い

Q 参加経験のあるワークショップ

A 身体表現、多国籍料理／ものづくりや多い／木こり体験

Q ワークショップ情報の探し方

A チラシが多い／ SNS。最近は人から教たり、お誘いいただくことも多い／ SNSサー

Q 参加するワークショップの決め手

A 講師の方への興味／面白そうか未来を楽しめると思えるかどうか

Q 行きたい国

A ブータン／スリランカ、フィンランド、台クロアチア、アメリカ／モロッコ。作業現場を

Q 今年挑戦したいこと

A 畑の野菜をちゃんと成人させる／オフド／左官

Q ものづくり以外で凝ってること

A なし／映画を観ること／屋外でいかに楽を食べるか

Q 子どもの頃ハマっていたこと

A 回し蹴り／サッカー／１センチ以紙で鶴を折る

Q ものづくり好きは家族の影響?

A あると思います／親族でものづくりをするりもいません／絶対にそう。祖父は土方、祖母父は電子基板系、母は美容師なので

Q 自由なお金と時間があればつくってみた

A 森のなかで住みながら家を建てたい／活動

Q 動物、植物を育てることについて

A 植物の根っこの匂い、足腰に感動します／好き

Q 得意料理

A 特になし。誰かのためを想くる時間が好き／料理自体あまり得い／なし。でもレシピがあればなんでもつくれてる）

Q 好きなスポーツ

A スケート、ダンス／散歩／最近は卓球

Q 好きなテレビ番組

A テレビは見ないのでわからない／テレってないんです／テレビはあまり見YouTubeで見るのは「兵動大樹のおしゃべの舞台録画

Q もらいたいドラえもんのひみつ道具ひと

A 世の中から言葉をなくしてしまう魔法（ドラたことないので想像）／四次元ポケット／翻訳

Q バイブル

A 本はあまり買わない／『はじめて考えるとき

場づくりが

えてもらっ
フィン

感じるか／

弯、ドイツ、
のぞきたい

グリッ

しくごはん

以下の

る人はひと
は畑と庭、

いもの
拠点／家

す／好きで

ってつ
得意ではな
る（と思っ

ンビ持
ないけど、
り大好き」

つ
えもんを見
コンニャク

きのように』

『場所はいつも旅先だった』『世界のエリートは大事にしないが、普通の人にはそこそこ役立つビジネス書』／『CHRISTIANIA Interiør』

CHRISTIANIA Interiør（マルヤマ）

Q 大事にしている言葉

A 特になし／和して同ぜず／而今

Q 私物のアンティーク

A 鵜飼の腰ミノ／タイプライター「SILVER-REED 715」／昔の秤（天秤?）

鵜飼の腰ミノ（三宅さん）

SILVER-REED 715（奥津さん）

Q 潔癖?

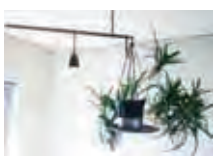
A どちらでもない／全然潔癖じゃない／潔癖じゃないけど風呂だけはいつもピカピカ

Q ストレス解消法

A 下から緑を見上げること。太陽をゆっくり浴びること／映画と散歩とおいしいごはん／うまいラーメン

Q インスピレーション源

A お店のインテリアや人のおうち、好みのテキスタイルが見つかったとき／特になし／この場所にこれがほしい、この素材をここに使いたいという欲求


昔の秤（マルヤマ）

Q 日々のファッション

A その日の心とちぐはぐにならないこと／ 1年後も着られるものを選ぶ／白いシャツを着ること

Q ささやかな希望と大きな野望

A 特になし／ものづくりをして生きていくことがささやかな希望であり、大きな野望／希望は車ほしい。野望はdefender 130（ランドローバー）がほしい

Q 2020年何をしている?

A 自分が愛したい人と生活／ものづくりをして生きている／ 2010年からバージョンアップしてきたiPhoneからAndroidへの乗り換えを本気で悩んでいると思う

Q こんな先生のワークショップに行ってみたい（三宅さん、奥津さんへ）

A 森や山に詳しいこどもたち、街に住んでるタモリさんみたいな人のWS。サンプリング音作り、身体表現…／かみ添・嘉戸浩さんのぽち袋WS、うなぎの寝床・白水高広さんのもんぺWS、Re:planter・村瀬貴昭さんの植栽WS、Sunday Savonさんの水入りせっけんWS…

KIITO: NEWS & TOPICS / 2018 Spring

What's on

障害者福祉の現場から生まれる商品の魅力をリサーチ

来年度開催を予定している「障害者福祉」のゼミに先立って、調査に重点を置いた「リサーチゼミ」を開講しました。作業所の商品開発や販促に携わる講師を招いて、商品の見栄えをよくすることだけでなく、生産現場のあり方や販路づくりなどにも目を向けながら、＋クリエイティブな商品の魅力の育み方をさまざまな事例から探りました。

＋クリエイティブ公開リサーチゼミ

Vol.1 障害者福祉編 「障害福祉サービス事業所」とそこで製作される「ふれあい商品」について深く、詳しく学ぶための公開勉強会
日時：2018年2月〜3月 全4回
ナビゲーター：永田 宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長）
ゲスト講師：森下 静香（Good job!センター香芝）、和田 邦康（特定非営利活動法人ユートピア若宮）、堀内 康広（TRUNK DESIGN）

Good job!センター香芝のふれあい商品

News

ウェブサイトkiito.jpがリニューアル！

KIITOの最新情報や館内施設をわかりやすくお伝えできるようにウェブサイトのデザインをリニューアル！システムも刷新し、イベントへの参加申込み機能も向上しました。また、「RENTAL SPACE」のページでは、ご利用いただける備品などもわかりやすくまとめています。新しくなったウェブサイトでKIITOのこれまでとこれからを発信していきます。

KIITOウェブサイト

http://kiito.jp/
（下のQRコードからアクセスしていただけます）

Report

「あそび」でつかむ、セルフビルドの心構えと技術

自分たちの環境を自力でつくりあげるための考え方と力を身につけるDIYワークショップ企画。今回は、「あそび」（≒余裕、隙間）をキーワードに、用途を定めない家具と建築の間のような装置を制作・設置しました。ケーキのような遊具、ドミノ・システムを参照した余材×長ネジの構造物など、気鋭のデザイナー、建築家による制作課題は、ルールと自由さのバランスが絶妙でした！ できあがった装置は、KIITO4Fに設置中です。

セルフ・ビルド・ワークショップ「あそび」のための「大きな家具／小さな建築」

日時：2017年12月〜2月 全3回
コーディネーター：川勝真一（RAD）
ゲスト講師：西尾健史（DAYS.）、+tic、NO ARCHITECTS

第1回で制作した、組み合わせ・使い方が自由なケーキのピースのような遊具

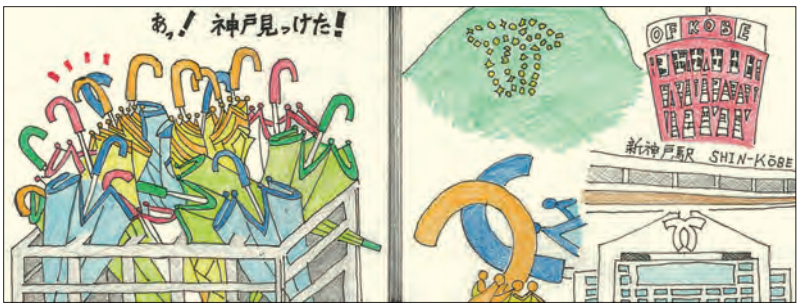
街の 2 コマ

神戸歴4か月のKIITO新スタッフAが、まちの愛すべき方に、
無茶ぶりでマンガ執筆をお願いしました。

第4回

高澤 克太さん

（アートスペースと雑貨の店「6丁目の花野」店主）



「6丁目の花野」は、座敷に上がって作品や雑貨を鑑賞できるアートスペース。まるでおばあちゃんの家のようで、いつまでも居座ってしまいそう。そんなお店でご自身の作品を展示することもある店主の高澤さんがマンガにしたのは「神戸のマーク」。最寄り駅である新神戸駅をどうしても描きたかったとのこと。新神戸駅の傘立て、いつも見てしまいそうです。

アートスペースと雑貨の店　6丁目の花野［新神戸］
11:00-19:00 ※展示入れ替えで臨時休業あり
TEL 078-231-8546
https://6choumenohanano.jimdo.com

スタッフFが見つけた

1$夜景 ／第7回

TOTAL **$77**

1000万ドルとは言わないけれど、見れたらちょっとイイよね、な神戸の夜景を紹介します。

♥ 値段：22$

夜の三宮フェリーターミナルから見る海は、神戸大橋へとつながる道路の照明灯に照らされて、緑とオレンジのストライプ模様を映しています。ゆらゆら揺れる光の波はなんだか幻想的。いつまでもぼーっと眺めてしまう魅力があります。

#オーロラ #に見えなくもない？ #夜の海は #まだまだ寒い

5問でわかる

世界のデザイン都市ガイド

デザイン都市って何？ 世界の「デザイン都市」担当者に共通の質問を投げかけて解きほぐします。
第7回は、30年足らずで人口30万人から1400万人に増加した、爆発的な発展が続く中国・深センから。

Q1「ここぞデザイン都市！」というスポット / Q2 深センのまちを舞台にした文学や映画、音楽のオススメ / Q3 最近、一番驚いたこと / Q4 ハマっていること / Q5 デザインをひと言でいえば

Vol.7　中国・深セン ｜ Shenzhen

1 代表的なクリエイティブ・パーク「OCT Loft」。深センと香港のデザイン、アニメーション、写真、アート、教育関連のための個人のスタジオ、企業やスタートアップによって放棄された旧工場を、創造的産業の中心として再生しました。

2 チャウ・シンチー（周星馳）監督のファンタジーロマンス映画『人魚姫』は、海岸沿い、東湖公園、水泳競技場、深セン湾などの多くのシーンが深センで撮影されています。

3 初の無人バス「Alfa Smart bus」がテスト走行を開始し成功しました。この新しいシステムと技術が他都市の都市交通システムにも役立つことを期待しています。

4 近頃は、広東―香港―マカオグレーターベイエリアの新しい開発計画の実現において、深センが重要な役割を果たせるように積極的にサポートしています。

5 デザイン＝可能性、実現性

答えてくれた人

XU Ting（徐挺）さん

深センデザインプロモーション協会（SDPA）事務局長。10年以上にわたりデザイン分野で働き、デザイン都市としての深センを国内外にプロモーションしています。

KIITO NEWSLETTER
VOL.020

2018年3月発行

「KIITO NEWSLETTER」は、
デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）が
年4回発行する情報誌です。
センターのコンセプトである+クリエイティブな
活動を発信していきます。

発行：デザイン・クリエイティブセンター神戸
編集：竹内厚［Re:S］
デザイン：多喜淳［6c］
イラスト：権田直博

KIITO

ACCESS

阪神神戸三宮駅、阪急神戸三宮駅、JR三ノ宮駅より
フラワーロードを南へ徒歩20分
国道2号線を超えた神戸税関東向かい
神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅より徒歩10分
ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

CONTACT

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4
TEL：078-325-2235
E-mail：info@kiito.jp
開館時間：9:00-21:00
休館日：月曜日（祝日、振替休日の場合はその翌日）年末年始12/29-1/3
http://kiito.jp/